

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第1四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	76.0	78.8(R5)	+3.2
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	289	322	+48
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,037	721(R5)	+139
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	43,908	7,969	+1,182
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	4	4	+3
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	66.2	69.9(R5)	+2.4
	②下水道整備率	%	82	91.0	83.9(R5)	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	24.1	25.3(R5)	+1.6
政策5	①町公式 SNS のフォロワー（友だち）数	人	2,322(R4)	3,200	3,523	-

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①「小宅古墳群」に、益子西小(45名)、田野小(35名)、益子小(49名)、七井小(52名)が訪れた。また、益子中(95名)が「かさましこ」について、益子小(46名)が「益子の歴史」について、ふるさと教育の一環で学習した。益子町内の小中学生が町の歴史等を知る良い機会となった。</p> <p>②ましこ検定・ましこ世間遺産実行委員会を開催し、地域資源を活用した周知・PRを充実していくことを確認した。(6/25)</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化協議会総会を笠間市で行った。(5/24) 計12名参加。 あわせて、かさましこ認定ガイド認定式を行った。対象者16名。</p> <p>3 ①図書館基本・実施設計プロポーザル1次審査(5/29)、2次審査(6/11)を実施した。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、定期総会において第二回目の仮換地指定を議決し、該当する権利者に仮換地指定通知を行った。ランドスケープ計画では、小宅地区でのワークショップ、円道寺池周辺の環境整備、里山循環ネットワークとの意見交換を実施した。</p> <p>4 ①通学路整備事業の町道155号参考館線は、不動産鑑定を発注した。町道170号線バイパス整備事業では、継続的に用地交渉を行っている。また、町道6号生田日本郷線においては物件移転の協議を実施した。橋梁補修事業では、学校橋補修設計業務を発注した。その他の道路維持事業では、維持工事事業の発注を行った。</p> <p>②塙地区の西谷の一部において、公共下水道供用開始の告示を行った。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟の増設工事と下水道の築造工事の積算を発注した。</p> <p>③継続地区(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)の地籍図地籍簿作成業務と新地区(上大羽Ⅳ、大沢Ⅴ)の測量業務を発注した。</p> <p>5 ①町公式 SNS への4月から6月の投稿数は、Facebook 25件、Instagram 21件、X 16件、LINE 32件、6月末時点でのフォロワー数はそれぞれ1,995人、562人、218人、748人、計3,523人となった。</p>	<p>1 ① 小宅古墳群やその他の文化財を町内小中学生が学習することにより、今後も益子の歴史や文化について学ばせ、益子を愛し、益子町に誇りをもつ人を育てていく。</p> <p>②ましこ検定の一般受検者確保の対策としてデジタル検定の導入について検討していく。世間遺産については、今後周遊ツアー等の計画を検討していく。</p> <p>2 ①首都圏からの誘客を想定した「かさましこツアー」やラーニングパッケージ商品の検討、商品化した9品に加え「かさましこ関連商品」の造成と販売PR企画を展開していく。公式ウェブサイトの充実も図っていく。</p> <p>3 ①審査結果に基づき契約し、図書館基本・実施計画の策定作業に入る。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、都市構造再編集集中支援事業の益子石並通りの地権者への事業説明を丁寧に行っていく。ランドスケープ計画では、町、地域、団体が連携し景観保全に取り組み、将来に残すべき資産の重要性について、理解促進を図り丁寧に進めていく。</p> <p>4 ①町道155号参考館線は、用地交渉の準備を進めていく。町道170号線バイパス整備と町道6号線では、早期発注に向け工事の設計積算を進めていく。学校橋では、補修設計業務を予定通り完了すると共に、工事発注の準備を進めていく。その他の道路維持事業では、整備必要個所の精査を継続的に行い、適切な道路管理を進めていく。</p> <p>②下水道築造事業では、今年度工区の積算を完了させ、入札の準備を進めていく。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟増設工事の工程管理や公営企業会計移行事業の、予算管理にも努めていく。</p> <p>③発注した地籍図地籍簿作成業務と一筆地測量業務については、適正な工程管理に努め、検査を行っていく。</p> <p>5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第2四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	76.0	78.8(R5)	+3.2
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	289	627	+337
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,037	721(R5)	+139
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	43,908	12,675	+1,724
政策3	①「アト・スケープ」計画を手掛ける地区	地区	0	4	4	+3
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	66.2	69.9(R5)	+2.4
	②下水道整備率	%	82	91.0	83.9(R5)	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	26.6	25.3(R5)	+1.6
政策5	①町公式 SNS のフォロー（友だち）数	人	2,322(R4)	3,200	3,836	-

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①栃木県立博物館共催事業の地域移動博物館「アンモナイトの世界～太古の海の不思議な生き物」の展示を行い、来場者数は435名であった。</p> <p>②ましこ世間遺産環境整備費補助の支給について制度の適正な審査や事務を行った。</p> <p>2 ①小学生対象の「かさましこ自由研究コンテスト」を実施し、益子と笠間から計28名の参加があった。また、自由研究コンテストのお助け学習を開催し、27名の参加があった。</p> <p>3 ①図書館基本・実施設計の契約を締結し、設計作業に入った。また、図書館基本設計作成に係るワークショップを開催し、10名の参加があった。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、水路築造工事2箇所を発注すると共に、上水道企業団をはじめ各関係機関との打合せを行った。また、物件移転補償も地権者との交渉を継続的に行った。</p> <p>4 ①通学路整備事業の町道4号栗崎道祖土線の設計業務を、町道170号線バイパス整備事業では、I工区とII工区の工事の発注を行った。また、町道6号生田日本郷線においては工事の発注を行った。橋梁補修事業では、学校橋補修設計業務が完了した。その他の道路維持事業では、維持工事業の発注を行った。</p> <p>②今年度予定していた下水道築造工事の発注はすべて完了した。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟土木建築工事については7月末で完了した。公営企業会計については、事業移行後適切な会計処理が行えた。</p> <p>③新規地区(上大羽Ⅳ、大沢Ⅴ)の一筆地測量業務について、調査実施のお知らせを発送した。また、調査素図を作成し効率的な調査地の選定について委託業者と打合せを行った。</p> <p>5 ①町公式 SNS への7月から9月の投稿数は、Facebook 26件、Instagram 31件、X 26件、LINE 75件、9月末時点でのフォロワー数はそれぞれ2,009人、679人、261人、887人、計3,836人となった。</p>	<p>1 ①「益子町から出土されたアンモナイトがあるなんて驚いた」など、好評であった。今後も事業の継続を検討する。</p> <p>②補助金の支給については、適切に審査・事務処理を行っていく。</p> <p>2 ①かさましこの研究を行ってもらうためのお助け学習「釉薬の不思議」「土の七変化ー光る泥団子づくり」を開催した。かさましこの歴史に触れる機会を提供するため引き続き参加を促したい。</p> <p>3 ①図書館基本設計にあたっては、住民参加のワークショップで意見をいただくほか、図書館整備アドバイザーを加え作業を進めていく。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、発注した工事が工期内に完了するよう工程管理を行っていく。また、物件移転については、丁寧な説明で事業への理解を求めていく。</p> <p>4 ①町道4号栗崎道祖土線は、事業説明会の準備を進めていく。町道170号線バイパス整備と町道6号線では、年度内完了に向け工程管理を行っていく。学校橋では、工事の発注に向け準備を進めていく。その他の道路維持事業では、整備必要個所の精査を継続的に行い、適切な道路管理を進めていく。</p> <p>②下水道築造事業では、発注工事の年度内完了に向け工程管理を行っていく。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟機械電気設備の工程管理を行っていく。公営企業会計事業については上半期事業業務報告書の作成を進めていく。</p> <p>③新規地区の一筆地調査の準備を進めていく。また、地籍図地籍簿作成業務の工程管理を行っていく。認証請求(前沢Ⅰ・Ⅲ、上大羽Ⅰ・Ⅱ)についても準備を進めていく。</p> <p>5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第3四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	76.0	78.8(R5)	+3.2
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	289	627	+330
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,037	721(R5)	+139
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	43,908	19,507	+1,308
政策3	①「アド・スコープ」計画を手掛ける地区	地区	0	4	4	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	66.2	69.9(R5)	+2.4
	②下水道整備率	%	82	91.0	83.9(R5)	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	26.6	25.3(R5)	+1.6
政策5	①町公式 SNS のフォロワー（友だち）数	人	2,322(R4)	3,200	4,053	-

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①歴史めぐりツアーは、田中正造に関するツアー（栃木市方面）を実施、31名の参加があった。第1回歴史講座「縄文時代の食べ物・益子の縄文土器」を開催37名の参加があった。</p> <p>②ましこ検定・世間遺産実行委員会を開催した。ましこ世間遺産環境整備の補助申請を9件受付、延べ21件となった。世間遺産ロゲイニングイベントを開催し25名の参加があった。</p> <p>2 ①かさましこガイド育成講座の第2回、第3回を実施し、15名の参加があった。かさましこバスツアーを実施し、益子日帰り20名、笠間日帰り23名の参加があった。</p> <p>3 ①図書館基本設計作成に係るワークショップ（10/19、11/30）を2回開催し、20名の参加があった。併せて、図書館の基本設計業務を関係機関等と打合せを行い進めた。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、水路築造工事2箇所等の打合せ等工程管理を行うと共に、電線共同溝の施工について各関係機関との打合せを行った。また、物件移転補償も地権者との交渉を継続的に行った。</p> <p>4 ①通学路整備事業の町道4号栗崎道祖土線の用地測量業務を、町道170号線バイパス整備事業では、Ⅲ工区の工事発注を行った。また、町道6号生田日本郷線においては舗装工事の発注を行った。橋梁補修事業では、学校橋補修工事とその他の橋梁点検業務の発注を行った。</p> <p>②下水道築造工事については、区画整理地内の一部の工事を除き発注した。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟機電設備工事については、工場製作中の進捗打合せを行った。公営企業会計については、経営戦略の改定業務打合せを行った。</p> <p>③新規地区(上大羽Ⅳ、大沢Ⅴ)の一筆地測量業務を行い、概ね終了した。</p> <p>継続地区(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)の地籍簿・地籍図閲覧について関係機関と協議を行った。</p> <p>5 ①町公式 SNS への10月から12月の投稿数は、Facebook 25件、Instagram 26件、X 15件、LINE 48件、12月末時点でのフォロワー数はそれぞれ2,042人、786人、279人、946人、計4,053人となった。</p>	<p>1 ①歴史講座については、参加者が多く満足度も高い事業となっているが、受講者が固定化されているため、新規受講者の取り込みについて検討していく。</p> <p>②3月開催の田野地区エリアでの歴史探訪ツアー準備を進めていく。</p> <p>2 ①ガイド育成講座では笠間市・益子町の文化財を活用したフィールドワークを行いスキルアップにつながった。バスツアーで文化財のガイドを行い、質の高い旅行を提供することができた。</p> <p>3 ①図書館基本設計の作成については、住民ワークショップの意見も考慮し、アドバイザーの意見も参考にしながら進めていく。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、発注工事の工期完了に向け工程管理を行っていく。電線共同溝の詳細設計について調整を行っていく。また、物件移転については、丁寧な説明で事業への理解を求めていく。</p> <p>4 ①町道4号栗崎道祖土線は、委託業務の工程管理を、町道170号線バイパス整備と町道6号線では、年度内完了に向け工程管理を行っていく。学校橋の補修工事とその他の橋梁点検業務の工程管理を行っていく。その他の道路維持事業では、適切な道路管理を進めていく。</p> <p>②下水道築造事業では、発注工事の年度内完了に向け工程管理を行っていく。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟機電設備の工場製作工程管理を行っていく。公営企業会計事業移行に伴い、経営戦略の策定業務を進めていく。</p> <p>③新規地区の一筆地調査については、未立会地の調査を進めていく。</p> <p>また、継続地区の地籍図・地籍簿の閲覧について準備を進めていく。</p> <p>5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。</p> <p>各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第4四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境と感ずる割合	%	—	76.0	77.1	△1.7
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	289	627	+330
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,037	655	△66
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	43,908	26,617	+2,660
政策3	①「アト・スコープ」計画を手掛ける地区	地区	0	4	4	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	66.2	71.8	+1.9
	②下水道整備率	%	82	91.0	83.9	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	26.6	26.5	+1.2
政策5	①町公式 SNS のフォロワー（友だち）数	人	2,322(R4)	3,200	4,236	-

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①第2回歴史講座「遺跡分布調査と地域の歴史」を開催47名の参加があった。歴史講座企画展「益子の縄文土器—御霊前遺跡出土土器—」を実施、50名の来場者があった。</p> <p>①ましこ検定受験者は一般が8名（合格6名）、中学生が163名（合格63名）で前年比△34名（合格△58名）と減少した。</p> <p>②民族芸能継承支援については、地域での継承活動として27団体655名の参加があった。</p> <p>②ましこ世間遺産の環境整備費補助申請があり延べ32件あった。</p> <p>②世間遺産探訪ツアー「民話でつづるましこ世間遺産めぐり」を開催9名の参加があった。</p> <p>2 ①かさましこ有料ガイド育成講座を実施し、実践講座23名、座学12名の参加があった。</p> <p>①日本遺産シンポジウム「北関東陶業の成立と展開」を開催135名の参加があった。</p> <p>3 ①図書館建設に向け、関係機関との調整を行い、基本設計作業を進めた。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、臨時総会を開催し、令和6年度予算の繰越と令和7年度収支予算を議決した。水路築造工事1箇所繰越事業とすると共に、電線共同溝の施工について各関係機関との打合せを行った。また、物件移転補償も地権者との交渉を継続的に行った。</p> <p>4 ①通学路整備事業では、町道4号栗崎道祖土線及び町道155号参考館線の用地交渉を、町道6号生田日本郷線においては舗装工事を繰越事業とした。橋梁補修事業では、学校橋補修工事は計画通り完成した。</p> <p>②下水道築造工事については、区画整理地内の一部と埜地区は計画通り完了した。また、浄化センターの沈砂池ポンプ棟機械電気設備工事については、工場製作中の進捗打合せを行った。</p> <p>③新規地区(上大羽Ⅳ、大沢Ⅴ)の一筆地測量業務を行い、概ね終了した。継続地区(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)の地籍簿・地籍図閲覧について関係機関と協議を行った。</p> <p>5 ①町公式 SNS への1～3月の投稿数は、Facebook18件、Instagram60件、X12件、LINE48件、3月末時点でのフォロワー数はそれぞれ2,087人、861人、299人、989人、計4,236人となった。</p>	<p>1 ①歴史講座等の参加者数が前年度比増となっているが、出前講座が3中学校中1校の実績だったため、学校への協力を求めるとともに、一般参加者を増やす企画を検討する。</p> <p>①ましこ検定（中学生の部）の受験をデジタル化した、今後、一般の部の受検方法としても検討していく。</p> <p>②民族芸能継承の活動支援を継続していくとともに、ましこ世間遺産環境整備費補助についても、令和7年度以降も継続していく。</p> <p>②民話を現地（世間遺産）で聞く特別感を味わうことが出来、参加者にとっても好評であった。地域文化や資源の普及啓発事業として継続していく。</p> <p>2 ①有料ガイドの実践の場として、「かさましこツアー」を実施することが出来た。今後は内容の充実努めるとともに、有料ガイドについても、引き続き育成と実践事業を行っていく。</p> <p>3 ①令和7年度は、図書館建設工事の実施設計を行う。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、発注工事の繰越について工程管理を行っていく。電線共同溝の詳細設計について関係機関と調整を行っていく。また、物件移転や補償については、丁寧な説明で事業への理解を求めていく。</p> <p>4 ①町道4号栗崎道祖土線と町道155号線については、用地交渉を進めていく。次年度発注予定の橋梁補修工事とその他の橋梁点検業務の発注準備を進めていく。その他の道路維持事業では、適切な道路管理を進めていく。</p> <p>②下水道事業では、浄化センターの沈砂池ポンプ棟機械電気設備の工場製作について工程管理を行っていく。</p> <p>③新規地区の一筆地調査については、財務事務所や法務局との協議を進めていく。また、継続地区の認証請求について準備を進めていく。</p> <p>5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>